

地域密着型サービス評価の自己評価票

グループホームベルジ川場たやの家

(☐ 部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	ホーム独自の基本理念を5か条にまとめ、また、初心をわすれずの精神で、努力を怠ることなく前向きに取り組んでいる。また、日々の生活を送る上での指針として「痛くなく、辛くなく、苦しくない日常生活を送る」を合言葉としています。	○	今後も地域の中のホームとしてのよりよい理念への取り組みを行いたいと思います
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	上記の基本理念及びホームの指針を日々職員に呼びかけ、方針の振り返りを行い浸透させている。	○	理念に対する実践度の評価を行い、達成しているかどうかといったチェックを行いたいと思います
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	入居の際には必ず説明を行っていると共に、どなたでも目に付くようホーム入り口付近に掲示を行っている。毎月1回お便りを家族へと送り、暮らしの様子を伝えています。	○	地域への理念浸透を今後力をいれていきたい
2. 地域との支えあい				
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	隣近所に民家が無い立地ではあるが、地元の理髪店や、ぶどう園・りんご園へと出かけ、職員・利用者が地元の方と交流が持てるよう日々努めている。近隣の畑で作業している地元住民に対しても挨拶・話かけをしています。	○	将来は気軽に立ち寄れる場所になれるよう努力を続けていきたい
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	上記の内容の他、老人会・地元保育園と共に、芋ほり行事への毎年の参加を行っているともに、地域での催し物(お祭り等)への参加を積極的に行っている	○	地域活動をもっと増やせるよう努めていきたい

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域住民の高齢者に対しては明確な貢献が行われていません。が、ホーム周辺～村道までのゴミ拾いを行ったり、地域施設の高齢者に対しては毎年手作りプレゼントを渡し喜んでいただいています	○	今後さらに可能なことを探し、地域への貢献を行ってまいりたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価のサービス向上への意義を十分理解し、指摘された課題に対して日々改善に向け取り組んでいます。	○	職員一人一人が評価の詳細を把握して、改善へ前向きな姿勢で、取り組みやすい環境作りを継続してまいりたいと思います
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	入居ご家族様への外部評価の結果の送付と共に、運営推進会議での報告も行っています。その都度ご意見をうかがい、評価以外でも、ご家族様の意向・希望等があれば、改善・取り入れる様努めています	○	今後行事への参加もしていただけるように取り組んで行きたいと思います
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	地区の民生委員さんが参加していただけるようになり、今年度の7月の運営推進会議では村役場へ依頼し、保健師さんの参加を頂く事が出来た	○	今後も地域の人たちへの参加依頼をしてまいりたいと思います
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	計画的な研修参加を行っているが、全職員が十分な知識で、活用の支援が出来るとまでは言えない	○	今後も研修に参加すると共に、サービス利用の手続きの仕方、その利用方法について学習し、いつでも活用できる状況作りに努めたい
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修への参加と共に虐待防止マニュアルを作成し、日々徹底しています	○	全職員が虐待に関しての研修に参加し、学ぶ機会をつくるよう努めます

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時は、常にご利用者・ご家族様へ十分な説明を行うと共に、理解・納得の下契約を行っています。		
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者の意見・不満・苦情等は記録に残し、管理者をはじめ全職員が把握するよう努めている。ただ外部者へ表す機会がない	○	今後、ご家族様を始め面会時には、利用者の意見・不満・苦情等の記録を見ていただける機会作りに努めます
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	面会時における家族への報告と共に、面会が困難なご家族様には定期的に家族へ電話連絡を行いご利用者の状況報告を行なっています。受診の報告や、個別出納帳の内容も合わせて行っています。また月1回写真付きのお便りを送付しております。		
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進委員会の他、ご家族様の要望・苦情・ご意見を面会時にこちらからさりげなく聞きだせる雰囲気・対応を行っています。改善すべき事項については早急に対応を行っています。		
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月2回の会議の際職員の意見・提案等なんでも言える場を設けています。また、管理者として日々職員の意見を聞く・言いやすい関係づくりに努めています。		
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	日々の従業員の確保には万全を努め、十分な職員体制となるよう勤務表を作成している。また、必要に応じて勤務変更も行っている	○	必要に応じ、電話にて連絡をとり出勤していただけるといった、職員の勤務への柔軟な取り組みしていきたい
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	利用者の為、職員の移動は極力行わないよう取り組んでいます。もし、ある場合は事前に納得していただけるよう十分に話をするなど配慮に努めています	○	職員の定着に取り組んでいきたい

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19 ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	新入社員・中堅社員・管理者等段階ごとの研修をはじめ、全職員を対象とした認知症・介護技術・感染症・危機管理など研修を計画的に受けられるよう実施している	○	職員育成の為今後も研修には積極的に参加できる体制を継続していきたい
20 ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域密着グループホーム協議会に入り、交流や勉強会に参加し、意見交換・情報交換をしています。12/17にグループホーム恵の家へレベルアップ研修として見学研修を実施いたしました	○	今後も研修に参加し、同業者との交流を持っていきたい
21 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	グループの職員を一同にかいし、忘年会・新人歓迎会を催したり各施設単位にて暑気払いなどの福利厚生を提供しています。職員が意見を何でも言い合える時間の確保にも努めている	○	今後も悩み事や心配事など何でもいえる職場・雰囲気作りを継続していきたい。
22 ○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	個々に合った仕事・向いている仕事・得意な仕事(食事、入浴、等の業務内容をはじめとする)といった個人の適正や個性を生かし責任を持った業務姿勢で仕事が行える様日々努めています	○	今後も個々に役割を持ち、自分から積極的に行える様にしていきたい。
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23 ○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	本人の希望や求めていることを十分に聞き、支援に努めています。		
24 ○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	ご家族の意向・困っている事、希望など入居にいたるまでに十分に話し合っています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	併設のデイサービス・有料老人ホーム事業所との連携を行い、柔軟なサービス提供が行える様支援している		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	ご本人・ご家族との面談や施設見学を含め、十分にたやの家の雰囲気を味わっていただき、本人家族が納得した上で入居をしていただいています。家族の意向・ニーズ・担当ケアマネージャーからの情報等も基にし、安心した生活が送れるよう努力しています		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者一人ひとり個性があり、また、長年培った特技もある。職員では及ばない点も多くあり、そういった面ではこちらが教わる立場という姿勢を持って接しています(習字・生け花、植木作業、畑仕事など)。お茶会などを開いて楽しみを共有する時間を持っています	○	今後もより一層支えあう関係を築いて参りたいと思います
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	面会時の他、家族の交流の場を定期的開催し、利用者との触れ合う時間を大切にしてくださいと共に、何でもいうことが出来る関係作りに努力しています。		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	本人の希望、ご家族様の希望等を十分に聞き、現在の関係を踏まえた上で、よりよい関係を持っていただける支援に努めています。また、ご家族様へ外出の提案をし、職員が援助しながら本人と家族で過ごせる時間が作れるよう取り組んでいます		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会の受け入れも自由であり、ご家族・知人等が面会にくることもとても多いです。知人の訪問に付添ったり、自宅が近い利用者へは家に戻ったり・畑の手入れ等をしていただいています。お祭りなどの催し物へ参加し、馴染みの場所や人と会える機会を作っています。面会の際は一緒に写真をとってお渡ししたりしています		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	洗濯物干し・たたみ、食事の配膳・下膳といった日常の作業を複数のご利用者でおこなっていただき、作業をしながら共通の話題で会話が出来るよう支援しています		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	長期入院によりサービスが終了したご利用者などはお見舞いを通して、一方的に関係を切ることなく継続した関わりをもっています。近くの病院への入院が多いこともあり、ご家族様に状況報告をさせていただいています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人一人個人毎の意向に添った援助を第一に考えて支援に努めています。行事参加、散歩、自宅訪問、知人訪問といった外への希望や「○○が食べたい」といった趣味・趣向を本人からうかがっています。	○	自分の意向・希望を表すことが困難な方に対して小さな表情の変化であったり、しぐさ、言葉などから汲み取る力を個人としてもさることながら職員全員が身につけることができるよう勉強・指導していきたい
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人・家族より生活歴を聞き、たやでの生活の中で、それが生かせる場を持っています。(書道・生け花・畑仕事・園芸など)		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	モニタリングを通してご利用者一人ひとりの状況を観察し、職員が皆把握できるよう努めています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	包括的介護支援プログラムを使用しケアチェックを行い、また、本人・家族からの聞き取りにより課題を明確にし、介護計画作成に努めています		
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	経過記録をもとに、最低1ヶ月に1回はモニタリングを実施し状態の変化により、介護計画に変更が必要な場合は計画の見直しを行っています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別の観察記録簿へ日付・時間・生活リハ・援助内容・観察事項・バイタル等の記入し、職員が情報を共有できるよう管理しています。特に、援助内容の変更や、本人の意見・ご家族様の意向なども合わせて記録し、今後の介護計画に反映できるよう努めています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	併設のサービス事業所から利用者を受け入れる等の連携体制を整えています。また、デイサービスの利用者との合同イベントを始め関わる機会をもち、多くの方と触れ合える場を提供しています		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	民生委員を通して村行事の予定をうかがったり、ボランティアの受け入れは常時行っており、沼田文化祭への参加など希望をかなえられるよう支援しています	○	協力をいつでも得られる関係作りの強化に努めたい
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	今まで他のサービスを利用した実績はなし	○	今後は地域のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービス利用をも取り組んでいきたいと思います
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	今まで本人の意向や、必要性もなく、地域包括支援センターと協働していない	○	必要性に応じて、長期的なケアマネジメント等について取り組んでいきたい
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご利用者・ご家族様の希望を聞き、以前から通っている診療所を継続して利用していただいている。(川場診療所)	○	今後も本人や家族の希望を取り入れた受診支援を継続していきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	協力医療機関医師と日頃から連携をとっておりますが、認知症専門の医師の診断は日常行われておりません	○	今後認知症に詳しい医師と職員が相談したり、利用者が診断や治療を受けられるよう取り組んでいきたい
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	施設内の看護職をはじめ、訪問看護ステーション・協力医療機関の看護職と連携し利用者の健康管理・疾病の予防に努めています。		
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院者があった場合は病院の医師・看護師・相談員への連絡は密に行っております。入院者への面会も行い状態の変化を把握するよう努めています。		
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	病状が重度化した場合や看取りに関する施設の方針をご家族様・ご利用者様に説明させていただいている。医療関係・ご家族様との連携がとれるよう努めています	○	今後も病状が重度化した場合のご家族様の方針の確認と医療関係との連携に取り組んでいきたい。
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	重度化及び看取りの対象となる利用者がいままでいなかった事もあり、取り組みがない	○	重度化及び看取りの対象となる利用者がいままでいなかった事もあり、今後対応する場合に備え具体的な支援体制の検討・準備を行いたいと思います
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	本人・家族・ケアマネージャーより生活歴や性格などを聞き、住み替えの不安をできるだけ少なくなるよう支援しています		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない		
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている		
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している		
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている		
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	○	現在管理栄養士によるカロリー・栄養バランスが計算されたメニューを取り入れているが、柔軟に利用者の好きなもの・得意なものを今後も取り入れ続けて参りたい。
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	日々の観察記録から排泄の時間帯を取り出し、排泄のパターンを把握し、適切なトイレ誘導ができる様援助するとともに、失敗した場合の原因の把握にも努め、改善へ向けていろいろ工夫を凝らしています(紙おむつ紙パンツの使用の可否・パットの有無・トイレ場所がわかり易いようなど)		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	個々の体力や希望を聞きゆっくり入浴できるよう援助しています。基本的には一日おきで入浴日をもうけているが、希望により毎日入浴してもかまわない。最低でも週に1回は入っていただけるよう支援しています。ゆず湯など入浴の楽しみを増やしています。	○	今後は季節に花びら風呂、りんご風呂等を取り入れ、入浴を楽しんでいただける支援に取り組んでいきたいと思います
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	各居室のほか、ホールなど好きな場所で休んでいただけるよう援助しています		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	誕生会や外出行事、イベントといった季節感を大事にして利用者が楽しめ、喜んでいただける事を第一に考えています。日々においてもその人が出来ること、好きな事、楽しいことを提供できるホームづくりに努めています(洗濯物干し、たたみ・生け花・散歩・カラオケ・掃除・うどんづくり等々)		
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	数千円単位の小遣いを所持し、自由に使えるよう家族と申し合わせています。また、自己管理が困難な場合はこちらで管理し、個々に出納帳を記載し家族へ提示しています	○	買い物時付き添いのもとで、本人にお金を払っていただき、おつりもいただくといったお金のやり取りを大事に取り組んで生きたいと思います
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気の良い日は出来るだけ散歩やお茶会をはじめ、庭掃除・花摘みなど外への働きかけを行っています。その日の希望で、外出や買い物など迅速に対応しています		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	年間計画や、行事計画に組み込んで外出行事を実施しています。また、それ以外でも利用者の希望にあわせ、個人での外出・少人数での外出援助を行なっています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	手紙・電話のやり取りは自由にしていただいています。電話をお繋ぎしたり、はがきを投函したりの支援をしています		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	ご家族をはじめご友人・知人など、いつでも面会に来てくださいとお伝えしています。訪問された際はホール・居室などお好きな場所でお好きな時間過ごしていただいています。		
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	開設当初から身体拘束は行わない方針で取り組んでいます。	○	今後も継続して行いたいと思います
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	出入り口の施錠はしているが、外出願望の利用者への配慮は行っております。時間帯によっては開放をして恒常的に施錠状態にならに様取り組んでいます。各居室の夜間帯においては、利用者の希望にて施錠・解錠を行っております	○	施錠状態が与える不自由さが利用者にとって精神的に不衛生を与える事がない様、外出願望のある方の傾向や状況をよく観察し、素早い察知ができ、開放したホーム作りに日々努めたいです。施錠する場合の判断基準も検討してまいります
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	定時に巡視を行い、利用者の観察を実施しています。と共に、ホールにてお茶やおやつを楽しむなど共同で過ごす時間を設け、無理なく利用者の様子観察が行える環境を整えています。利用者の状態に応じて巡視の時間の間隔を変えて対応しています		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	可能な限り、持ち物に対して禁止はしておりません。が、利用者の状態によってライター・マッチといった火器に対しては本人・ご家族の了解を得て、こちらでお預かりさせていただいています		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	利用者に起こりうる事故を予測し、日ごろから事故防止に努めています。そして、事故発生した場合にはその原因を検討し、再発防止に努めています。	○	定期的な事故事例の検討会議を開催し、防止への意識付けを行っていきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	マニュアルと共に急変時・事故発生時の対応は職員へ周知徹底しています。		
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	火災・地震等の災害時のマニュアルにそった行動が行える様取り組んでいます。昼間・夜間を想定した避難訓練の定期的な実施をし、隣の施設との応援・協力体制も確保しています。		
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	利用者の状況によっては事故が起こる危険性についてご家族様へ十分に説明をさせていただいています。本人・ご家族様の意向を踏まえた援助に努め、自由が奪われることのないケアを行っています		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	バイタル測定、食事摂取量、排便、排尿、水分摂取量や日常の細やかな変化は個別記録に記載し体調の変化を見逃さないよう早期発見早期対応を行っている	○	日常の細やかな変化に気づける観察力を磨いていきたいと思っています
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	看護師が責任を持って管理し、朝・昼・夕・寝の前と分包し、薬の内容は把握しやすいようファイルにまとめ職員がいつでも確認でき、適切な服薬ができています。服薬援助とともに、薬が変更になった場合などは職員への伝達がスムーズに行われるようノートへの記入をしています		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	利用者個人の排泄チェックリストにて排泄状況の確認を行なうと共に、日頃より水分の摂取や体を動かす機会を設け、便秘予防に取り組んでいます。機能低下によりどうしても排泄が困難な場合にのみ浣腸を行っています		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	年に1回は無料の歯科検診を受け、治療が必要な場合は実施し、口腔ケアの講習会を歯科医に実施していただいている。また、口腔衛生は必ず毎食後実施し、利用者の能力に合わせ、声かけ、見守り、一部援助をし自力で行える様支援に努め、磨き残しのなどのチェックをしています。夜間は義歯の消毒の支援をしています		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	カロリーを始め栄養バランスの取れた、個々の能力に合わせた食事形態で提供を行っています。一日三食のほか、10時・15時のお茶の時間、また、夜間帯における水分の提供を行い、十分な水分補給が確保できる支援を行っています。本人の望むペースを尊重し、介助にも配慮を行っている		
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症防止のマニュアルを作成し、徹底しています。また、この時期にはノロウイルスを始めとする感染症の研修に参加し、予防への意識を高めています		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	台所用品の消毒および管理は全職員が把握し、徹底しています。塩素消毒・煮沸消毒など台所用品に合わせ行っている。食材に関しては契約した食品配送会社より週に3回配送にて安全な食材が届きます		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	家庭的で温かみのある家作りを目指し、植木や花などの植物を飾ったり、畑や庭先に家庭菜園を作っています		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	落ち着いてすごせるようテレビの音量や、日差しの強い時のカーテン調節等気を配っています。生け花をホールや玄関に置いたり、季節の果物・野菜をそのつど用意して季節感を味わっていただいています。リラックスできる優しい音楽をかけ職員と共にお茶を飲み、色々な話をしてお茶を楽しんでいます		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食堂、ホール又は自室やベランダ等で自由に、利用者思いの場所でリラックスして過ごしていただいています(ソファで居眠りや、タバコを吸う、テレビを見るなどなど)		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	全ての居室において持ち込み自由とし、本人・家族がくつろげる空間を演出していただいている。特に身の回りのもの(箸・茶碗・家具・衣類等)愛着のあるものを是非お持ちいただくよう入居時に説明しています。		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがなく換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	各換気扇を適時活用し、また時間をきめて必ず換気を行っています。ホールの冷暖房設備の特徴を把握し、冷暖房の温度設定の範囲を決め、暖めすぎ・冷やしすぎる事のない様配慮している		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かし、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	施設内は全てバリアフリーとなっており、手すりはトイレ・浴室・廊下をはじめ、安全に自立での動作が行える様設置しています		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	見やすい場所にカレンダーや時計の設置、場所間違え防止の個人ネームの設置等		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	ホーム前の畑ではきゅうりやナス、トマト、いんげん、スイカ、メロンなどの家庭菜園を楽しんだり、ベランダで園芸をするなど支援を行っています。水やりや草むしりなどを楽しみながら行っていただいています		

V. サービスの成果に関する項目			
項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる		①ほぼ全ての利用者の
		○	②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている		①ほぼ全ての利用者が
		○	②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
		○	③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている		①大いに増えている
		○	②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う		①ほぼ全ての利用者が
		○	②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

利用者と職員が一つの家族として生活している。食事面では委託先の栄養士が献立を立てて下さっておりますが、その日その日に利用者様から「これが食べたい、あれが食べたい」とのリクエストに答え、メニューの変更や利用者様と一緒に手作りして楽しめる食事を提供しています。(うどん、すいとん、お蕎麦等) また、利用者様のお誕生会をケーキや好きな物(出前寿司等)で職員と利用者様皆でお祝いしています。